２０２３年度

事 業 計 画 書

自　　２０２３年　４月　１日

至　　２０２４年　３月３１日

一般財団法人 関西観光本部

Ⅰ. 2023 年度の取組方針

＜背景＞

長引くコロナ禍がようやく終息してきたことを受け、国内観光は、2022 年 10 月に始まった全国観光支援等の施策もあり、2022 年の国内旅行の延べ宿泊数はコロナ禍前の 2019 年比で 90%程度の水準まで回復している。一方、訪日外国人については、6 月より観光目的の入国受入れ再開や段階的な水際措置の緩和がなされ、特に、本格的な受け入れ再開を行った 10 月以降顕著な回復傾向が見られるものの、2022 年の訪日外国人客数は対 2019 年比では 10%程度となっている。

このような旅行環境の状況を踏まえ、関西観光本部（以下「当本部」という。）は、2022 年 3 月、関西 2 府 8 県の関係者が一堂に会しとりまとめた「関西ツーリズムグランドデザイン 2025」（以下、「グランドデザイン」）に基づき、広域連携 DMO として、コロナの情勢を見据えつつ、基本的な事業を進め、臨機応変にインバウンド促進のための事業に取り組んでいる。具体的には、①広域観光圏“KANSAI”を世界に発信するため、”The KANSAI Guide”や SNS を活用したデジタルでの情報発信を強化するほか、10 月の水際対策緩和を踏まえ、プロモーション活動を再開し、欧米等から有力ランドオペレータや海外メディアを招いたファムトリップを積極的に受け入れた。また、ツーリズム EXPO2022、台湾三越と連携した関西フェア、米国旅行博(LATAS）へ出展したほか、台湾大商談会を 3 年ぶりに現地で開催した。②地域を磨く・つなぐ取り組みについては、「伊勢～奈良」、「福井～琵琶湖東岸～伊賀」の 2 ルートの商品造成により関西広域観光 8 ルートの基本的な整備等を行った。③新たな魅力を創る取り組みでは、“KANSAI”の食のツーリズム化促進のための戦略調査を行った。また、近畿運輸局と連携し、関西空港を起点とした大阪湾の海上周遊 4 ルート造成を支援している。④観光のパラダイムシフトへの対応と観光インフラの強化に関する取り組みでは、”The KANSAI Guide”へのアクセスの分析を通じた事業効果の可視化のため、マーケティングダッシュボードの高度化を進めるほか、通訳案内士向けファムトリップなどに取り組んでいる。

また、グランドデザインで明記された「ONE 関西での新たな推進体制の必要性」について、2025 年の大阪・関西万博に向け、「万博プラス関西観光推進事業」を企画し、その推進体制として 2 府 8 県 4 政令市、民間事業者・団体等で構成する「EXPO2025 関西観光推進協議会」を 3 月 23 日に設立した。

＜取組の方針＞

観光庁が策定を進める第 4 次観光立国推進基本計画（対象年度 2023～25 年度）では、政府の基本方針として、「持続可能な観光」、「消費額拡大」、「地方誘客促進」が掲げられている。観光立国の実現に向けて、観光はコロナ禍を経ても成長戦略の柱、地域活性化の切り札であるとの認識の下、大阪・関西万博が開催される 2025 年に向けて、持続可能な観光地域づくり、インバウンド回復、関係人口・交流人口の拡大に戦略的に取り組むという政府の基本的な方針が示されている。

このような状況を踏まえて、当本部は、策定 2 年目となるグランドデザインを様々な事業を通じて、着実に推進することとする。特に、万博への来場機運を醸成し、多数の旅行商品造成等により万博来場者を関西一円の地域に誘う「万博プラス関西観光推進事業」については、2023 年度が初年度であり、「EXPO2025 関西観光推進協議会」の事務局として、関係者との協働の下、当本部が一丸となって取り組む。また、長期的視点に立った当本部の基本的な事業に着実に取り組み、

戦略策定のための調査事業、デジタル・プロモーションの基盤である「The KANSAI Guide」の運営・充実及びマーケティングダッシュボードの高度化、地域と連携した広域観光ルートの造成、政府機関等の各種補助事業を活用した事業等に取り組むほか、デジタル・リアルでの関西観光情報の発信、恒例となった台湾大商談会、各種セミナー・研修、受託事業を実施する。

これらの事業の推進により、グランドデザインの実現に向けて着実に歩みを進める。

Ⅱ．2023 年度の取組事業

（※）印は新たな取組

2023 年度から始まる、「万博プラス関西観光推進事業」を推進するため設立された「EXPO2025 関西観光推進協議会」の事務局として、同事業の推進を行うほか、当本部の事業として、以下の事業に取り組む。

〔アクションⅠ〕広域観光圏“KANSAI”を世界に発信

１－１　関西観光情報発信サイト“The KANSAI Guide”を通じた発信強化

○　訪日検討層の関西訪問意向を高め、関西広域に外国人観光客を送客するため、海外向けの関西の観光情報のゲートウェイとして構築している WEB サイト“The KANSAI Guide”のコンテンツの充実を図る。

○　また、“The KANSAI Guide”への訪問者数の目標である月間 50 万ＵＵを目指して、適時適切な SEO 対策、継続的な SNS 発信等により情報発信力の強化を図る。

○　訪関西意向調査を継続し、関西の各地域の観光戦略策定に貢献する。

１－２　重点市場等に向けた取り組み

○　近畿運輸局が定める重点市場（中国、台湾、タイ シンガポール、米、英、仏、豪）を中心に、引き続き市場の調査分析を進め、各種事業の企画・実施に活用する。

○　「万博プラス関西観光推進事業」を通じた ONE 関西でのプロモーションを的確に実施するとともに、同事業に取り込むことが難しいエージェントファムやメディア・ファム、VJTM 等の商談会に参加する。

○　「万博プラス関西観光推進事業」と連携して、“KANSAI”の広域観光の基本としての広域観光ルートを発信し、これを通じた誘客の促進を図る。

○　成熟する台湾市場の取り込みを一層強化するため、恒例となっている台湾大商談会を実施し、台湾からの誘客を促進する。

〔アクションⅡ〕地域を磨く・つなぐ

２－１　広域観光ルートづくりの推進

○　広域観光ルートを象徴するコンセプト商品を完成させるため、和歌山県南部(熊野古道大辺路・南紀熊野ジオパーク）から三重県南部(東紀州・伊勢志摩）にかけてのエリアを対象とした周遊ルートを造成する（※)。

○　「万博プラス関西観光推進事業」と連携しつつ、広域観光ルート間をつなぐルートの開発やこれに係る商品の造成、ルートに係る着地型商品の造成等、概成した広域観光ルートの磨き上げを行う。

２－２　西日本の拠点としての”KANSAI”の形成

○　関西以西と連携し、西日本の拠点としての”KANSAI”の形成を目指し、四国、瀬戸内及び山陰との西日本広域連携の枠組み策定と広域間での連携事業の企画・実施を行う（※）。

〔アクションⅢ〕新たな魅力を創る

３－１　新たな「テーマツーリズム」の構築

○　「万博プラス関西観光推進事業」と連携し、メインテーマである「いのち輝く未来社会」を素材したテーマツーリズムの商品造成を推進する（※）。

○　政府の補助を通じて誘導する、SDG s 等のツーリズム化調査等を進め、「万博プラス関西観光推進事業」を通じて、旅行商品化を図る。

○　御食国（京都、若狭、淡路島、伊勢志摩）の食文化や歴史背景等をストーリー化するため、地域資源の洗い出し及び専門家による観光コンテンツの磨き上げを行い、国内外に情報発信し、モニターツアー実施など、御食国ツーリズムの造成に着手（関係県による協議会事務局として推進）

○　2022 年度に近畿運輸局等と共同で実施した関西国際空港等を起点とした実証実験（４ルート）の検証結果を踏まえ、大阪湾周遊ルートも含めたツーリズム化を支援する。

○　淀川における舟運を活用した事業への協力を行う（近畿運輸局等との連携）（※）。

○　関西広域連合及びミュージアムぐるっとパス関西実行委員会事務局と連携し、関西の主要な美術館や博物館等の文化施設を巡るデジタルパスポートの導入に向けたシステム構築を進める。

〔アクションⅣ〕観光のパラダイムシフトへの対応と観光インフラの強化

４－１　デジタル基盤の強化

○　新たなインデックス（テーマ特集）の追加に合わせ、既存コンテンツの自動表示プログラムを用いたサイト内回遊性を向上させるなど、“The KANSAI Guide”の閲覧性向上のためのシステム拡充を進める。（※）。

○　“KANSAI”のグローバルデスティネーション化を推進すべく、関西広域観光情報の発信基盤である「The KANSAI Guide」の発信力を高めるコンテンツ拡充、SEO 対策を強化する。

○　“The KANSAI Guide”への訪問者数増に伴い、ユーザーデータが蓄積されることから、これらのデータを分析するマーケティングダッシュボードを実装し、地域の誘客戦略策定等を支援する（※）。

○　優待特典付き IC カード型乗車券 KANSAI ONE PASS の事務局運営を行う。

４－２　観光人材の強化

○　地方自治体からの受託事業として、通訳案内士に対する研修を行うほか、一層の知識向上を支援するため、ファムトリップを実施する。

○　通訳案内士の活躍の場の拡大を目指し、高額消費者層向けツアー造成、専用サイトを通じたプロモーションを実施する。

○　近畿運輸局と連携しつつ、ホテルコンシェルジュへのセミナー・研修等を実施する。

〔アクションⅤ〕事業推進のための基盤整備

５－１　構成団体・会員等に向けた活動

○　構成団体・会員等の活動や事業に役立つ、関西インバウンド交流会の開催、外国人向け情報誌「KANSAI OFFICIAL TOURIST GUIDE」の発刊、インバウンド施策の立案に資する各種情報発信を行う。

○　各種セミナー・研修会や個別の事業実施を通じて新たな会員獲得のための活動を行う。

〔アクションⅥ〕各種イベント等の実施

６－１　文化関連事業の実施

○　関西元気文化圏推進協議会の事務局として、同協議会が主催する「関西元気文化圏賞」に係る事務を行う。

○　関西広域連合との共催による関西 2 府 8 県の文化施設への集客を目的とした「関西文化の日」に係る事業を実施する。

参考：万博プラス関西観光推進事業（※）

〔1〕EXPO 関西旅行商品の造成・プロモーション・販売支援

○　万博に向けた関西観光促進のため、万博来場者をターゲットとした新たな旅行商品開発。

○　国内外の旅行エージェントによる EXPO 関西旅行商品の 100 商品以上造成を支援し、旅行商品エージェントのほか、海外 OTA 等も活用し、造成者による販売を支援。

○　旅行商品造成の促進、販売支援に向けて、リアル・デジタルのプロモーション、海外エージェント・ランドオペレーター、海外メディアを対象としたファムトリップを戦略的・計画的な実施。

〔2〕旅ナカ・サポート

○　観光案内所、通訳案内士、ホテルコンシェルジュ等、人材の高度化とネットワーク化の推進。

○　広域観光デジタルマップの構築等による関西観光サポート体制の構築

〔3〕関西広域観光情報ゲートウェイ

○　“The KANSAI Guide”のコンテンツ拡充と機能拡張を図り、外国人観光客に役立つ情報をワンストップで提供できる関西の共通情報発信基盤”広域観光総合情報プラットフォーム“を構築。

○　さらに、旅ナカで役立つ“医療情報”や関西 MaaS との連携による”2 次交通情報”等も提供すべく、関連の外部サイトとの連携を強化し、観光案内所やホテルコンシェルジュ等、外国人観光客とのコンタクトポイントと連動するゲートウェイ機能を開発。

以　上